

令和3年度(中山間)安心安全でおいしい米づくり

発行 大分県農業協同組合 北部事業部

堆肥と土壌改良資材を施用してうまい米生産に努めましょう！

安心・安全「信頼」強化に 全員記帳を実施しましょう！！

麦わら・稲わらは焼却せずに、すき込みましょう(地力向上)

- ①根の伸張促進
- ②土壌が柔らかくなり、クラスト(土膜)化を軽減

麦わらすき込みのポイントと対策

- ①代かき時の浮き上がり防止、麦わらを15cm以上の長めにカット。
- ②荒おこしは、早めの時期に深く耕す。

③代かきは、極浅水で行う。

- ④麦わらが分解される時にガスが発生し、水稻初期生育に影響を与えるため 移植後15日、25日に水の入れかえを行い、ガス抜きをする。(その後通常管理)

土づくりのポイント

稲わら、麦わらの全量すき込み、牛糞堆肥投入(10a当たり1~2t)を行い、地力維持に努めましょう。土壌改良資材を投入することで、水稻の生育向上が期待できます。土壌診断を行ない適切に施用しましょう。

総合濃縮堆肥	散布量
スーパーコンボ	100kg
土壌改良資材名	散布量
オイスターミネラル又はミネラルG	100~200kg
けい酸加里	40kg

(上記資材のいずれかを施用しましょう。)

15cm以上の深耕を行い、根の張りを良くし気象災害に強い稲づくりを行いましょう。

本田施肥基準

N(kg/10a)基準量

品種名	N	
	元肥	穂肥
コシヒカリ	3	2
ひとめぼれ	3	2
ヒノヒカリ	4	3

下記のいずれかの基準から選択してください。

標準施肥基準(例) (10a当たり)

区分	元肥		穂肥	
	肥料名	施肥量	肥料名	施肥量
コシヒカリ	化成肥料	3.0kg	化成肥料	1.5kg
ひとめぼれ	化成肥料	3.0kg	化成肥料	1.5kg
ヒノヒカリ	化成肥料	4.0kg	化成肥料	2.0kg

側条施肥の場合は、元肥を1~2割減量して施用してください。穂肥は、幼穂長1cm(出穂前18~20日頃)に施用してください。出穂後の穂肥は、食味低下の原因となるので避ける。

省力(元肥一発)施肥例 (10a当たり)

区分	元肥	
	肥料名	施肥量
ヒノヒカリ	EMコート477	50~60kg

一時的に葉色が薄くなる時期があるが、追肥は施用しないこと。

種子の準備

■箱消毒

イチバン乳剤(20cc/水20ℓ)

■浸漬・催芽 水は毎日取り替える

積算温度100℃(水温20℃の場合5日間)



十分に催芽させて出芽ムラをなくす

■塩水選

よく混ぜて、浮いたものを取り除く

うす塩	もち
比重 1.13	1.08
水 4.0kg	2.4kg
塩 5.8kg	3.2kg

■種子消毒

薬剤名	水20ℓ
テクリードフロアブル 2.00倍	100cc
スミチオン乳剤 1.000倍	20cc

月旬	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月			
	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
稲の生育	ひとめぼれ 播種		田植え		稲の体を作る		穂を作る		米を作る		収穫期		収穫期			
水管理	農業用水は大切な資源です むだなかけ流しはやめましょう。															
病害虫名	苗立枯病		いばもか病		もみ枯細菌病		ウツカヨモイガ		いもち病		稲こじ病		ウンカ・カメムシ			
農薬名倍率	タチガレエースM粉剤		テクリードフロアブル 1000倍		スミチオン乳剤 1000倍		防人箱粒剤		コラトップ粒剤5		スターバスター粒剤1000倍		タラカトスター粒剤1000倍			
散布量10a当たり	箱当たり6g		水20ℓに100cc		水20ℓに20cc		箱当たり50g		3kg		100ℓ		4kg			
時定期	箱当たり6g		消種子		播種時		移植当日		20日播種前		上旬		3~4kg(粒別は出穂3~2週間前)			
管理のポイント	育苗箱施肥				水管理				稲こじ病				刈り取り			
	●必ず1箱50g施用すること。 ●散布後に散水すること。 ●ぬれ苗に使用しない。				●田植え直後より10日間は、深水管理に努める。括着後は、3cm程度の浅水管理とする。 ●中干し後は、出穂期前後の湛水時期を除き 間断かん水とする。(入水および自然落水を繰り返すこと。)				●刈り遅れると、光沢が劣り、茶米、胴割米の発生及び食味の低下の原因となります。 ●水管理は、刈り取りに支障がない限り直前まで間断かん水に努める。				●水分を14.5%~15%にしましょう。			
	田植え				中干し				乾燥							
	●栽植密度60株程度とし、補付本数は、3~4本/株で苗箱数の節約を。				●1株20本以上の茎数確保できたら中干しを始める。 田の表面が軽くヒビ割れる程度。(7~10日)											

除 草 剤

初・中期一発除草剤

区分	使用量10a	農薬名	注意事項
粒剤	1kg	エンペラー1キログラム粒剤	・水を3~5cm溜めてから散布する。 ・散布後は落水せずに7日間は水深3~5cmにする。 ・粒専用散布機で田植同時処理可
ジャンボ剤	250g	エンペラージャンボ	・水深5cm以上で散布する。 ・藻や浮き草が多い田は使用を避ける。 ・風が強い日の使用は避ける。
フロアブル	500ml	エンペラーフロアブル	・使用直前に容器をよく振ること。 ・藻や浮き草が多い田は使用を避ける。 ・風が強い日の使用は避ける。

田植後の一発除草剤散布のポイント



後期除草剤

雑草名	薬剤名	10a使用量	散布上の注意事項
広葉雑草対象 ・ミズカヤツリ ・ワリカワ	バサグラン粒 バサグラン液	3~4kg 500ml	・粒剤はミズカヤツリに弱い。 ・落水後に散布する。 ・散布後2~3日は落水のままにしておく。 ・降雨直前は使用避ける。
ノビエ対象 ・3~6葉期まで	クリンチャー1キログラム粒剤 クリンチャーEW	1~1.5kg 100ml	・水口をとめ、湛水状態で散布する。 ・ノビエ専用剤で広葉雑草には効果が無いので注意。 ・EW(液)は展着剤を加用する。 ・1.5kg施用時は田植後25日以降に散布すること。
ノビエ・広葉雑草対象 ・ノビエ5葉期まで ・ミズカヤツリ ・ワリカワ・ホタルイ	クリンチャーバスME液	1000ml	・落水後に散布。散布後3日間は入水しない。 ・腐食が強くときを選ぶ。 ・腐食が強い田は使用を避ける。 ・湛水による障害がでる場合がある。
ノビエ・広葉雑草対象 ・ノビエ4葉期まで ・ミズカヤツリ ・ワリカワ・ホタルイ	レプラスジャンボ	400g	・湛水状態で水田に均等に投げ入れる。 ・藻や浮草が多い田は使用を避ける。 ・風が強い日の使用は避ける。

令和3年産米栽培管理日誌

JA名 北 部 事 業 部 地区名 中津 宇佐 安心院 豊後高田

生産者名 住所 電話番号

品種名 栽培区分 普通期 栽培面積 a

ほ場所在地 圃場枚数

※該当する肥料・農薬に○をつけて下さい ※上記の肥料・農薬は一例です。同等の肥料・農薬をお使い下さい

土づくり	堆肥等	堆肥名(農産物堆肥)・(畜糞堆肥)・()・()	10アル当り()	月 日
種子	土づくり肥料	肥料名(ケイカル)・(ミネラルG)・(けい酸加里)・(とれ太郎)・()	10アル当り()	月 日
種子消毒	種子消毒	① JAから種子購入(種子更新率 100%更新 一部更新 %)	② 自家採取 ③ その他()	月 日
播種	播種形態	(箱播種・露地播種)		月 日
育苗期	箱施肥	肥料名()・()	使用量(50g/1苗箱あたり)	月 日
本田作業	元肥	肥料名(化成肥料16-0-16)・(EMコート477)	10アル当り()	月 日
	追肥	肥料名()・()	使用量10アル当り()	月 日
	病害虫防除	薬剤名()・()	使用量10アル当り()	月 日
	病害虫防除(無人ヘリ)	委託先(JA) その他()	薬剤名()	月 日
	病害虫防除	肥料名(化成肥料16-0-16)・()	10アル当り()	月 日
	病害虫防除	薬剤名()・()	使用量10アル当り()	月 日
	病害虫防除	薬剤名()・()	使用量10アル当り()	月 日
	病害虫防除(無人ヘリ)	委託先(JA) その他()	薬剤名()	月 日
	病害虫防除	肥料名()・()	使用量10アル当り()	月 日
収穫	刈			月 日
仕上	乾燥・調製	① 農協ライスセンター ② 個人ライスセンター ③ 自家 ④ かけ干し		
収量	10アル当り()	袋/30kg		
確認	確認			

*この管理日誌は切りとって荷受け、検査時に農協へ必ず提出して下さい。

肥料・農薬はみなさんのJAから

JAおおいた 北部事業部 農畜産課
 中津 ☎ 32-9440 安心院 ☎ 44-2023 大分県北部振興局 ☎ 32-1555
 宇佐 ☎ 32-0714 豊後高田 ☎ 22-3135 大分県東部振興局 ☎ 72-0409 (大田地域)